

私の写生地

安曇野・北アルプスを訪ねて

会員 田中 祐三

今、山下大五郎回顧展の図録を見ている。その巻頭の言葉に「私のみつけた小さな一本の道、それはひたすらに描き続けた絵の道でした。この道すじに残した作品をここにあらためて……」平成二年三月 山下大五郎

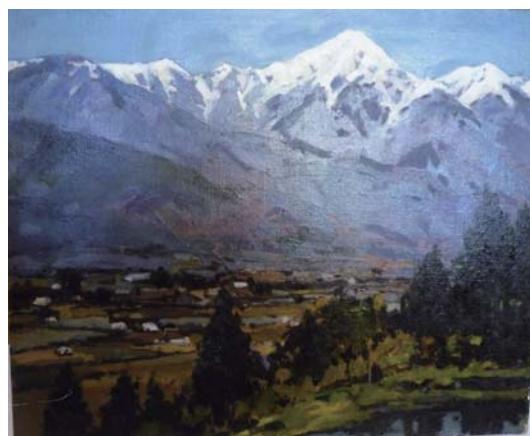
私は示現会で発表している河港風景の他に、毎年の様に知人・友人の方々と山下大五郎が大切にした長野県の安曇野・北アルプスの山々を描きに行ってます。そして多くの画家が描いた写生地、私が好んで描いている写生地を紹介します。

■ 国宝松本城の近くの小高い丘にアルプス公園がある。曲がりくねった坂道を上り切ると駐車場に出る。北アルプスが一望に見渡せ正面に常念岳が朝日の中で燐々と輝いていた。

■ 碓山美術館は大糸線の穗高駅から徒歩10分の所にあり、近代彫刻家荻原碌山とその仲間の作品が展示されている。建物は北欧の教会を思わせるレンガ造りで壁に薦が絡みついていた。以前は展示室に入る時に入館



▲ 碓山美術館



▲ 常念岳



▲ 大王わさび農園

■ 池田町立美術館は小高い丘に建てられ山下大五郎の作品が数多く収納され、作品の一部が常時展示されている。いつの時か美術館前の階段でキャンバスを立て安曇野風景を描いていると「田中さん!!」後ろから声をかけられた。振り向くと示現会の方だった。美術館からの風景は正面に有明山、左は少し傾むいた常念岳名峰が連なっている。

右は蓮華、爺ヶ岳、鹿島槍、五竜ど



▲ 安曇野

■ 信濃大町から国道は148号線に変わり更に進むと白馬だ。八方尾根、木ノ瀬高原は白馬三山の玄関口で冬はスノーボード、スキーの客でごった返す。五月になると雪も無くなり残雪と新緑の美しい季節を迎える。

私は梅池から南小谷への千国街道（塩の道）を好んで描いている、千国の集落へは何度も足を運んで來た。

■ 大王わさび農場・わさび田は清流に沿って縞模様を造り、そして映画監督黒沢明が映画「夢」のロケで使われた水車小屋が今も残っている。

料を支払っていたが、今は美術館入口で料金を支払う様になった。



▲ 木崎湖



▲ 千国街道



▲ 白沢洞門



▲ 鬼無里

大池駅の間に姫川第二ダムがある。大糸線を渡りダムに沿つて細い坂道を上り切ると集落に出る。早朝若い写真家が大型のデジカメを備え白馬三山の白く輝く峰々を夢中でシャッターを押していた。

■ 大出の吊り橋は白馬駅から車で約10分。白馬の山々と手前の吊り橋、そして藁ぶきの民家は日本の原風景だ。私が知人と描きに行つた時、隣所で見知らぬオジサンに声をかけられ「昨日にあの有名な先生がこの場所で描いていたのですよ!」。「ところでその先生のお名前は?」「エツ……!」



▲ 千国街道 (塩の道)

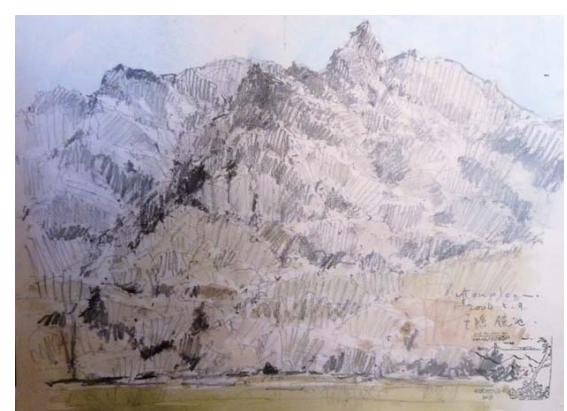


▲ 大出の吊り橋

つもある。そろそろ白馬から国道406号線で鬼無里(きなさ)そして戸隠へと向う。細い山道を右へ左へとハンドルを切り今まで描いて来た白馬、唐松、五竜、鹿島槍がだんだん離れて行く。峠のトンネル「白沢洞門」の前では写真を取る人達で列をなしていた。トンネルを越すと鬼無

里で途中の「いろは堂」はおやきの店、いつも混んでいる。戸隠まではもう一走りだ。明日は鏡池で描きた

い。戸隠名物の蕎麦は鏡池の入口の「そばの実」が旨いと聞いている。



▲ 戸隠鏡池